

【打田先生的】3年間で印象に残った3大ニュース

【第3位】自然教室での振り返り動画

みなさんにとっても過酷な冬の雪山での体験であったと思いますが、先生にとってもスキー場を何度も上り下りして写真を撮り、夜な夜な眠い目をこすりながら明け方4時まで動画の編集作業をするという、みなさんとは違う目線で過酷な自然教室でした。でも、振り返り動画上映時に笑って見ているみなさんの様子を見て「大変やったけどやってよかったなあ…」と思いましたし、上映後のみなさんから拍手をもらったときは泣きそうでした。

自然教室だけでなく、何度か振り返り動画を編集させてもらいましたが、毎回みなさんに喜んでもらえましたし、毎回拍手をいただき大変うれしかったです。しかし、先生はあくまで写真を並べ替えて音をつけただけで、これまでの動画の源は全てみなさんのがんばって取り組む姿です。多くの感動を得るためにはみなさんのがんばりが欠かせませんでした。先生としてはそのみなさんのがんばりに感謝しています。多くの感動をありがとう！！そして、今後の人生でも何事もがんばる姿勢を続けると、必ずいいことがあると思いますので、努力を怠らないようにしましょう！！

【第2位】スカイツリーで「リピート・アフター・ミー」

東京で分散学習をすると、複雑な乗り換えや初めての地で迷うこともあるので、なかなか集合時間に全員がきっちり集まるということが難しく、先生たちもハラハラしたのですが、集合場所に整列、点呼した状態で時間を迎えることができたことはうれしかったです。よく修学旅行でも、集合に遅れたりすると、全体に対して「全体に迷惑がかかるから遅れちゃいかん！」みたいなことを言ったりするんですが、集合場所でこのような説教を垂れることなく、和やかに今後の行程の話ができたことがうれしかったです。都会の地でみんなで乗り換え駅を唱和できるなんて素敵な仲間たちだと思います。そんなみなさんに恵まれたことに感謝です。みなさんも素敵な仲間たちを大切にしましょうね。



【第1位】鳥肌ものの合唱

打田先生が合唱が好きだということはおそらくみなさんご存じかと思います。理科の先生の立場ながら、合唱練習の時にやけに張り切っている様子をみなさんも感じ取っていたかと思います。先生自身、中学生の時に当時の音楽の先生のご指導もあって、熱心に合唱に取り組むことができ、貴重な経験(Nコンみたいな大会に出たり、学年合唱のソロパートを担当したり…)をすることがありました。合唱で得られる達成感や一体感、人々を感動させることができる素晴らしさを学ばせてもらいました。だからこそみなさんにも同じような体験をしてほしかったのです。

正直、みなさんが1・2年生の時の学年合唱の出来に満足したことはありませんでした。「もっとできるはずだ！」と思いガンガン発破をかけた、後ろから一緒に歌ったり、時にはまじめにできていない子に対して厳しい指導をしたり…。みなさんが達成感を味わうことができているだろうか？合唱の素晴らしさを感じているだろうか？そして何より3年生になるにあたって、後輩に感動を与えられるような素晴らしい合唱をできるのだろうか？そんな不安な思い、歯痒い思いをしていました。

今年度の入学式。先生はみなさんの反対側に座ってみなさんの合唱の様子を見ていました。悔しい。そんな思いで見えていました。しかし、文化祭の取り組みが始まると、さすが3年生でした。朝練などをして1・2年生の時より練習量も増え、

取り組みにも熱を帯びていました。迫力も音質も随分変わってきました。文化祭直前の学年練習でラストに歌ってくれた合唱を先生は正面で聴いていました。3年生らしい立派な合唱でした。久しぶりに鳥肌が立ちました。みなさんはプロの合唱団ではありません。でも先生はみなさんを1年生の時からずっと見てきて、成長したなあ…とこの時感じ、みなさんの成長に心が震えたのです。これ以外でも様々な場面でみなさんの成長を見てきて、喜びを感じるものがたくさんありました。これからはそばで成長を見守ることはできませんが、5年後の同窓会で会った時にさらに成長した姿を楽しみにしたいと思います。これからのみなさんの飛躍を願っています。ちょっと早いですが、卒業おめでとう。



